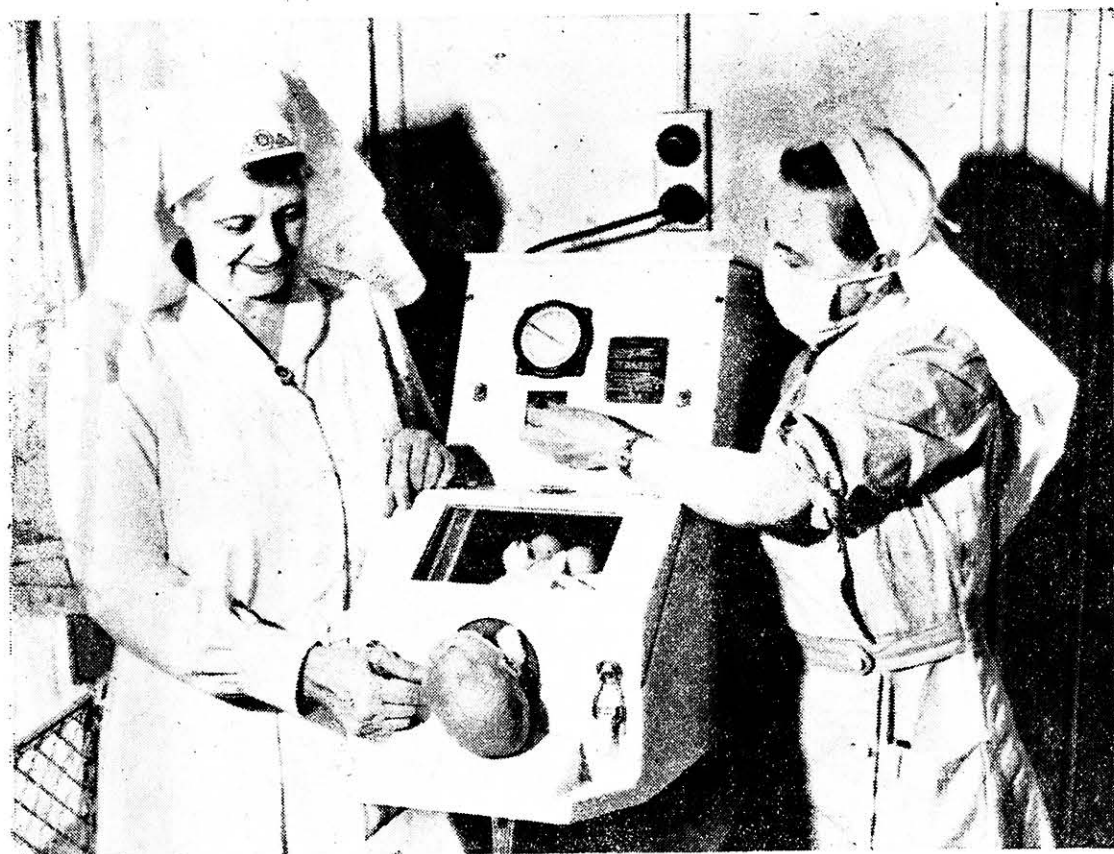




写真はおーストラリアの病院で
用いられている小型呼吸保護器

新生児の呼吸保護器

新生児用の小型呼吸保護器が出産時呼吸困難な幼児を救う為にオーストラリアの病院で用いられている。これは Waterworth Infants' Respirator として知られている。鉄肺、はタスマニアの首都である Hobart の Ian Waterworth が Dr. McIntyre と協力して設計した。

現在それはオーストラリアの7つの大病院で用いられている。

それは240ボルトの交流によつて操作され、内部は60ワットの電燈2個によつて保温される。空虚度はプレッシャーゲージに水の示すインチ数で

分る。最大は4である。この機械の協同設計者である Dr. McIntyre は $2\frac{1}{2}$ から $3\frac{1}{2}$ インチの空虚度が普通だと言っている。空虚度は左側つまみで調節される。この調整によつて幼児の首のまわりの露出度が變化する。人工肺、の最初の新型は T.E. Both というオーストラリア人によつて作られ、1938年に英国に持ち込まれた。Both Cabinet Respirator として知られている。Lord Nuffield はその価値をいたく認め英聯邦中の病院に装置する費用を出した。同様な人工肺、は今や世界中の大ていの国で使用されている。